

CASBEE® 新築[簡易版]

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.8)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	耳原総合病院	階数	地上14階
建設地	堺市堺区協和町4丁465番 外10筆	構造	S造
用途地域	第1種中高層住居専用地域	平均居住人員	2,153 人
気候区分		年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年4月 予定	評価の実施日	2013年6月13日
敷地面積	10,343 m ²	作成者	株式会社昭和設計
建築面積	3,650 m ²	確認日	2013年6月13日
延床面積	26,010 m ²	確認者	古谷隆祥



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
 ①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア = 3.3

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 4.0

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 3.1

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項

総合	その他	
耳原総合病院は1950年に地域住民の「自分たちの手で、安心して診てもらえる診療所をつくらう」という運動が結実し、民家の2階を間借りして耳原実費診療所が開設され地球の人たちと手を携え、支え合い、発展してきた病院である。地球と共に医療を提供し続ける病院として「周辺の景観との調和」「病院がそこにある安心感の提供」「地域の景観を構成する建物として長く親しまれるデザイン」の3点を軸として計画した。		
Q1 室内環境 病室・デイルーム・ラウンジは十分な自然採光が取れるよう配慮するとともに、遮音性を高めることで、快適な環境のもと、療養期間を過ごせる計画としている。ハイサイドライトによる自然採光を利用した計画としている。	Q2 サービス性能 重要係数を1.5とした地震に強い計画とするとともに、非常用発電機・無停電電源装置を設置することで災害にも強い病院として計画をしている。内装については清掃の行いやすい素材を採用し、メンテナンスを行いやすい計画としている。	Q3 室外環境 (敷地内) 大きく低層部と高層部のボリュームを分離し、またそれぞれを更に適度なボリューム分割を行うことで周囲の中高層の集合住宅群とのスケール感・ボリューム感の調和を図っている。
LR1 エネルギー トップライトを設け自然採光が確保可能とするとともに、煙突効果による通風・換気が行える計画としている。LED照明の採用により、省エネに努める計画としている。	LR2 資源・マテリアル 断熱材はノンフロン素材を採用。建材に再生材を利用する計画としている。	LR3 敷地外環境 風環境シミュレーションを行い、風力が比較的強い箇所に緑葉を施すなど、対策を行っている。また敷地内通路を設けることで、敷地周辺の交通渋滞が起きにくいよう計画している。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	耳原総合病院	BEE	BEEランク
	建設地	堺市堺区協和町4丁465番 外10筆	1.3	B+
	主用途/延床面積	病院 / 26,009.76 m ²		

2. 重点項目への取組み		
重点項目	評価点	取組み度
CO ₂ 削減	3	● ● ● ● ●
省エネ対策	4	● ● ● ● ●
みどり・ヒートアイランド対策	2	● ● ● ● ●
安全快適な暮らし	4	● ● ● ● ●

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア				
CO ₂ 削減	評価項目		スコア	評価点
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値		3.4	3
省エネ対策	評価項目		スコア	評価点
外皮性能	CASBEE「Q1-2 2.1.3」のスコアによる評価値	建物全体	3.0	4
		住居・宿泊部分	3.0	
建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値		4.1	
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値		3.5	
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値		3.5	
効率的運用(集合住宅は対象外)	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価値		3.0	
水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価値		3.8	
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目		スコア	評価点
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値		1.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価値		3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価値		3.0	
安全快適な暮らし	評価項目		スコア	評価点
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1.1.3」のスコアによる評価値		4.0	4
耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2.1」のスコアによる評価値		4.6	
地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3.1」のスコアによる評価値		5.0	
交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2.3.3」のスコアによる評価値		3.0	

4. その他	
技術の名称	考慮事項
特に配慮した事項	